

森林資源の循環利用に向けた木材の利用拡大 対策について

【担当省庁】農林水産省

森林の多くが伐期を迎える中、森林資源の循環利用に向け、それを担う林業事業体を育成・強化し、コロナ禍で需要の急減した木材の需要拡大を強力に推進するため、以下の措置を講じていただきたい。

- 森林整備、高性能林業機械の導入及びその運用に不可欠な路網整備など、林業経営の強化・拡大を支援する森林整備事業及び林業成長産業化総合対策について、必要な予算の十分な確保とともに、再造林まで一貫して行う主伐に係る伐採・搬出経費についても対象となるよう柔軟な制度運用
- 原木の需要バランスに柔軟に対応するため、原木の一時保管等に要する経費を支援する、今回補正予算で措置された輸出原木保管等緊急支援事業の継続と必要な予算の十分な確保
- 木材利用による森林資源の循環利用を促進するため、林業成長産業化総合対策などにおける公共施設の木造化・木質化に対する補助率の嵩上げや、商業施設などの民間分野も支援対象とする制度の拡充、また木材需要の拡大に繋げる国民運動の一層の強化

【現状・課題等】

■再造林の状況

主伐をしても再造林経費や下刈り、鳥獣被害対策などの保育経費に見合う収入が得られないため、再造林しない森林所有者が増加しており、人工林の主伐実施箇所における、年毎の再造林率は平均で約20%（全国約24%）にとどまり、健全な森林資源の循環が進んでいない状況

■木材需給環境急変時の対応

自然災害やコロナ禍等による木材需要の急激な減退に伴い木材価格が下落した際にも、森林所有者への利益還元や林業事業体の収益を安定的に確保するには、木材の利用拡大策とあわせ、原木の一時保管等の需給の安定化策が有効

■民間施設も含めた幅広い木材利用の推進

住宅着工戸数の長期的な減少傾向やコロナ禍の中、木材需要の拡大に向けて、公共施設のみならず、商業施設・オフィスなどの民間施設など、様々な分野で幅広く木材利用を進めることが必要であり、木造公共施設整備事業の床面積の下限値要件の緩和等や、民間施設を事業対象とする制度の拡充や木質内装の補助率嵩上げなどが必要

■木材利用拡大のための国民運動の状況

広く一般消費者を対象に木材利用の意義を広め、木材利用を拡大していくための国民運動として、「木づかい運動」が展開され、国産材を使用した製品等に添付する「木づかいサイクルマーク」やパンフレット等による普及啓発活動が実施されている。

| | |
|-------------|---------------------------|
| 京都府 の担当課 | 農林水産部 林業振興課(075-414-5006) |
|-------------|---------------------------|

【国の事業等】

■概算要求〔農林水産省〕

- ▶ 森林整備事業 1,492億円（令和2年度予算1,223億円）
森林資源の適切な管理と林業の成長産業化を実現し、国土強靱化や地球温暖化防止等にも貢献するため、間伐や主伐後の再造林、林道の開設改良などを推進
- ▶ 林業成長産業化総合対策 173億円（令和2年度予算129億円）
意欲と能力のある林業経営者の育成や経営の集積・集約化を進めるため、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等のほか、CLT（直交集成板）等の木質建築資材の利用環境の整備等、川上から川下までの取組を総合的に支援

■令和2年度第1次補正予算〔農林水産省〕

- ▶ 輸出原木保管等緊急支援事業 10億円
輸出や国内工場へ出荷ができず、一時保管場所に滞留している原木の保管費用や一時保管場所を利用するための運搬経費、借地料等を支援

【京都府の取組】

- 次世代林業を担う林業事業者総合支援事業（令和2年度予算371百万円）
林業の成長産業化と適切な森林管理の両立を目指し、府内の林業を担う林業事業者の経営をソフト・ハードの両面から支援
- 京都の木のまち拡大事業（令和2年度予算106百万円）
府の公共施設、民間の施設や住宅などにおいて、府内産木材を利用した木造化や木質化、木製品の導入等を支援

■京都府の高性能林業機械等の導入状況 （単位：台）

| 年 度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全 国 | 7,089 | 7,686 | 8,202 | 8,939 | 9,659 |
| 京都府 | 50 | 53 | 54 | 61 | 62 |
| 府内シェア | 0.71% | 0.69% | 0.66% | 0.68% | 0.64% |

参考：代表的な高性能林業機械「ハーベスタ」
 購入経費 約30,000千円/台
 維持経費 約5,000千円/台/年



■京都府内の公共建築物の木材利用

- ▶ 京都府茶業研究所（平成30年竣工）
 - ・木材使用量：390 m³（うちCLT使用量144 m³）
- ▶ 久御山町とうずみこども園（令和元年9月着工）
 - ・木材使用量：113 m³（うちCLT使用量51 m³）

